

予防接種検討委員会（予防接種運営協議会）からの報告

1. 平成28年度の開催状況

8月5日に開催 委員10名中8名出席

2. 議題と主な意見

(1) B型肝炎ワクチンの定期接種化について

平成28年10月1日接種分から予防接種法上の定期接種に位置づけられ全額公費負担になる。

対象は、28年4月1日以降に生まれた方で、1歳になるまでに3回接種する。

(主なご意見)

- ・4月1日生まれの方が10月から規定の間隔をあけて3回接種すると最短でも4か月半かかる。健康状態等で1歳になるまでに3回接種できない方が出てくるおそれがあるので、そのような場合の救済措置を検討してほしい。

(2) 高齢者インフルエンザ予防接種の制度変更について

特別養護老人ホームなどの高齢者施設でインフルエンザの定期接種を実施する場合、医療機関への委託費を低く抑える一方で入所者には一律に自己負担なしとするなど特別の料金体系を設けていたが、在宅者と不公平の解消等のため、特別の料金体系を廃止する。

今シーズンからは、市民税非課税世帯等の方は引き続き自己負担なしで、それ以外の方は在宅者と同様に自己負担1,500円とする。

(主なご意見)

- ・特になし。

(3) 風しんワクチン接種助成について

平成28年度から風しん抗体検査助成が廃止になったことに伴い、風しん抗体検査を受けなくても風しんワクチン接種助成が受けられるように制度を改めた。

(主なご意見)

- ・制度を継続し、接種を勧めてほしい。

(4) 平成27年度予防接種実施状況報告と接種事故報告について

平成27年度に医療機関から報告された予防接種事故は41件で、主な内訳はワクチンの有効期限切れ13件、規定された接種間隔外での接種11件、規定された回数を超えた10件です。これに伴う健康被害の例はありません。

(主なご意見)

- ・接種間隔などの制度が複雑化しているため、接種事故の件数がなかなか減らない。制度に問題があるので、神戸市としても国に要望してほしい。